

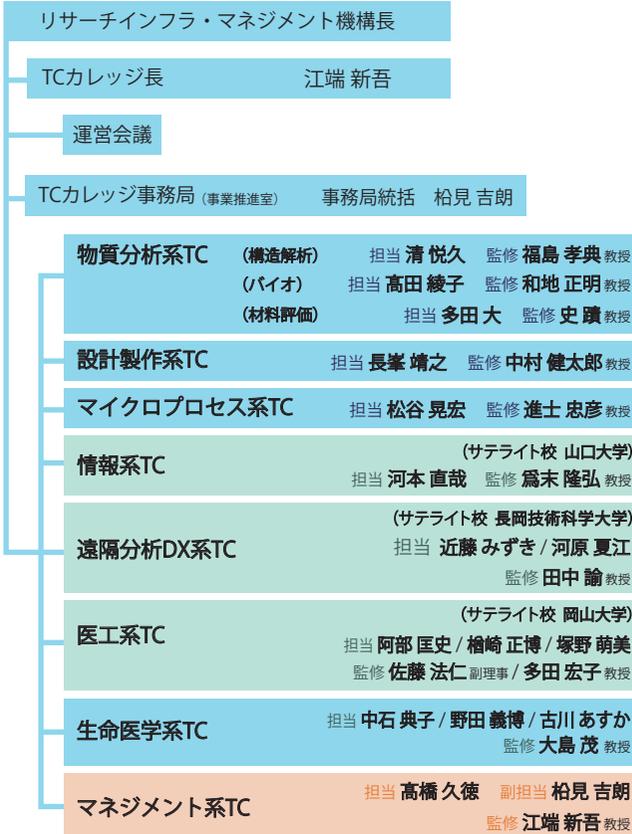
運営体制



TCカレッジ長
江端 新吾 教授



TCカレッジ事務局統括
栢見 吉朗



連携機関 国立大学法人 山口大学 (サテライト校)
国立大学法人 長岡技術科学大学 (サテライト校)
国立大学法人 岡山大学 (サテライト校)

協力機関 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

協力企業 日本電子株式会社 / 株式会社島津製作所
株式会社リガク / PerkinElmer Japan 合同会社
株式会社堀場製作所 / 株式会社エビデント
株式会社日立ハイテク / リケンNPR株式会社



TCカレッジ 事務局

国立大学法人 東京科学大学

リサーチインフラ・マネジメント機構

〒152-8550 東京都目黒区大岡山 2-12-1 S3-45 南3号館 1003号室

TEL:03-5734-2218



TCカレッジとは

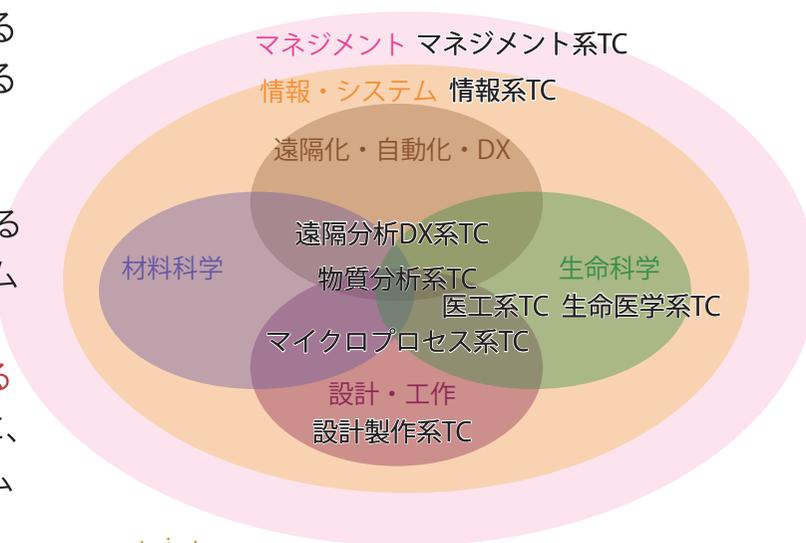
大学の技術職員、企業で研究開発に携わる技術者等の高度技術専門人財を養成する新たな仕組みです。

TCカレッジでは、広く社会のニーズに応えるべく、産学官が協働して独自のカリキュラムを開発し8つのコースを用意しました。

TCカレッジへ入学すると、**大学教員による講義**や**技術職員による講習・研修**のほかに、**連携機関や企業との共同開発カリキュラム**を受講することが可能です。

特徴的なカリキュラム

- 機器・機械メーカー見学
- 大学教員セミナー・企業セミナー
- 中古機器の分解体験 (バラシキャラバン隊)
- 安全講習・業務体験
- 博士論文公聴会聴講・研究室見学
- 自然科学研究機構の技術研修 など多数



TC (テクニカルコンダクター) 称号付与

高い技術力・研究企画力を持つ技術者を「テクニカルコンダクター (TC)」として認定する称号制度を導入しています。

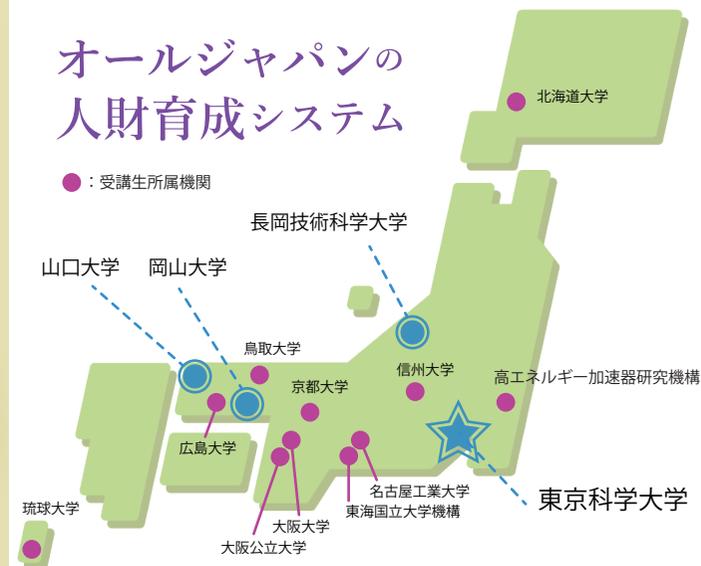
- 1 高い技術力と幅広い知識
- 2 高い研究企画力
- 3 高いコミュニケーション力・交渉力
- 4 次世代後継者育成力

TC取得までの流れ



入学後、原則1～2年目でTM (テクニカルマスター) 認定を目指し、各コースで設定された必修科目、選択科目の受講と必要 KPI の単位認定を受けます。TM 認定後、教員の指導のもと TC 論文を作成し、TC 論文発表会を開催します。TC 論文審査会および TC カレッジの運営会議で TC 認定可否を判断し、合格者が TC に認定されます。

オールジャパンの人財育成システム



連携機関・サテライト校・協力企業が一体となり、高度人財養成ネットワークを形成して日本全体の科学技術の推進に寄与できる人財の輩出を目指しています。